

S H I M I N P H O T O

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島



NO.97

平成16年7月1日発行

屋外のオブジェ

Outdoor Objet



【 風 】

～水族館北側広場～

CONTENTS

★表紙写真説明	3
クローズアップ	12
木山仁さん	16
学校探訪	14
東谷山中学校	18
カメラトピックス	20
ハロー鹿児島	22
「ファニア・シェイキ」さん	24
私の好きな場所	26
久留一郎さん	28
ふるさと再発見～史跡編～	29
西郷・大久保誕生地碑・共建碑	30
あなたのおトサロン	30
鹿児島東高等学校 写真部	30
よかタイム	30
川口麻依子さん	30
街角ウォッチング	30
伊敷二ユータウン	30
わが家の味じまん	30
仮屋さん「アミコー	30
館のたからもの	30
鹿児島市交通局	30
わが町上空	30
鹿児島港 本港区周辺	30



鹿児島の海を遊ぶ

「我は海の子、白波の…」。鹿児島には雄大な桜島が浮かぶ錦江湾がある。

こんな贅沢な遊び場は他の都市には見られない。

今回はその魅力を存分に味わっている「海の遊び」の達人たちに、その楽しみ方を紹介してもらいました。

手づくりカヌーで海の散歩

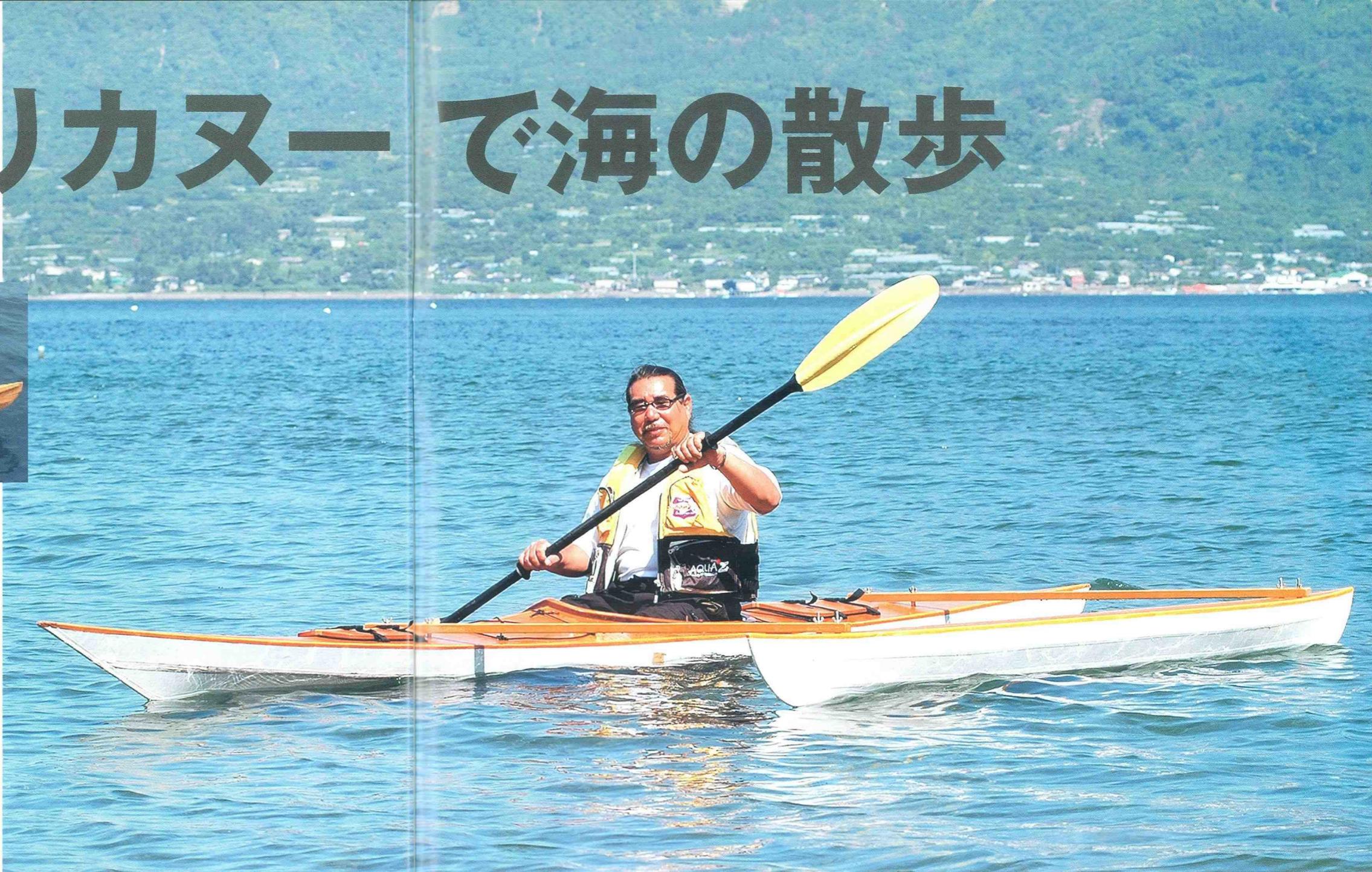
手づくりのカヌー。海水のハブニングも。これは甑島へ渡っているときの写真。「錦江湾だったら、万が一流されても沿岸のどこかには漂着するから安心だよね」と笑顔で話す。でもライフジャケットの着用など、自身の安全確保には十分気を配っている



寄港先では、カヌーの製作を通じて子どもたちと交流する「海の教室」を行っている。「今後、志を同じくする仲間と、身近な海の魅力を楽しく語り合うためのNPO法人をつくりたい」と夢を語る



安定性を増すためにカヌーにはアウトリガーが付いていて、自転車の補助輪のような働きをする。「外海に出るとさはこれが付いていると安心。錦江湾は波風が穏やかだからアウトリガーランでも十分だね」



11年前、ヨットで世界一周をした中村力さん。世界の海を見てきた男が「錦江湾は世界一」という。「静かな内海で、目の前に活火山がある。ナポリも似ているけど火山との距離が遠いので、鹿児島の桜島のほうがずっと迫を感じるね」。

その中村さんが現在はまつているのがカヌー。正確にはシーカヤック。手づくりのキットも市販されていて「だいたい2日で完成。値段も普通のカヌーの5~6分の1だね」。

カヌーの魅力は手軽なこと。

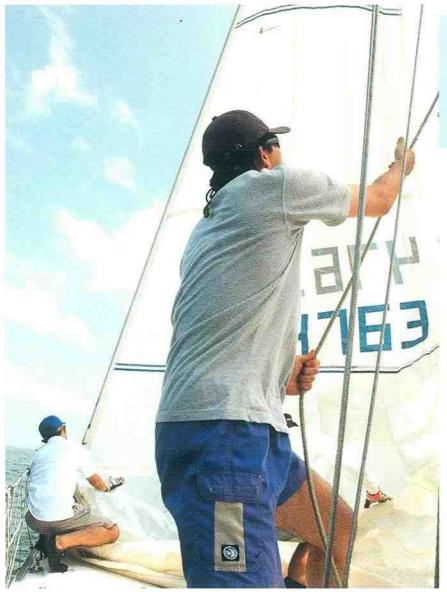
「カヌーは車に積めるから、好きなポイントへ行き来するのが楽。錦江湾を散策するのにピッタシ」。

お気に入りの散策コースは、いつたん磯海水浴場にカヌーを運び、そこから桜島まで渡つて温泉に入つてから帰つて来るコース。「この前なんか、初めて漕いだ女性が磯と桜島を往復したよ」。なんと桜島までだいたい40分ぐらいで行けるそうだ。

中村さんは現在、しゃくとり虫方式で九州の西海岸を伝い、韓国まで漕ぐ旅を実行中。身近な海から隣の国まで、カヌーが世界を広げ

桜島まで漕いで、
ひとつ風呂

ヨットを操る ヨットを操る仲間たちと



和気あいの雰囲気も操縦するときは真剣さが漂う。
「普段はのんびりだけど、レースのときは怒号が飛び交う
こともありますよ。やっぱり勝ちたいからね」と石原さん



沖に出たところで、ちょっと一息。耳障りなエンジン音ではなく、聞こえてくるのは波と風の音だけ
(右から鎮守俊行さん、西園光世さん、出之口隼人さん、泊三千代さん、泊景太さん、西園一秋さん、
石原拓史さん、石原舞琳ちゃん)

仲間と一緒にヨットを購入し、休日に家族ぐるみで楽しんでいるのは石原さんら5人のクル。「お金がかかる」「金持ちの遊び」と思われがちなヨットだが、石原さんは「中古艇を共同購入すれば、そんなにお金はかからない」と言う。

特に鹿児島市は、市がヨットを保有し無料でヨット教室を行つており「鹿児島市ほど手軽にヨットを楽しむ環境が整つてゐるところは他にないのでは」と鎮守さんが教えてくれた。学生時代は湘南の海でヨットをしていた出之口さん。錦江湾の魅力を聞いてみると「湘南の海と比べると水温が高いので、冬でも楽しめますね」と語った。

ヨットが縁で結婚したカップルも多い。同乗していた西園さん夫妻と泊さん夫妻もうしたカップル。奥様方お一人に「だんなさんがゴルフやるとどっちがいい?」と不躾な質問をすると、きっぱりと「ヨット!」。理由を尋ねると「家族みんなで楽しめるから」。隣で石原さんの娘さん(名前はなんと舞琳ちゃん)がデッキに腰掛け、足で波をはじきながらトウモロコシをほおばっていた。

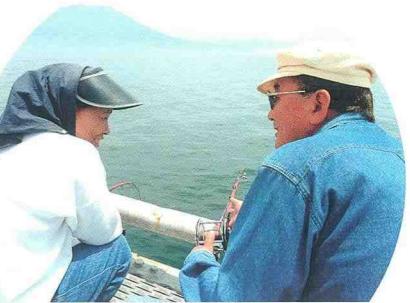
思つたより 身近なヨット





二人で静かに釣り糸を垂らす

お二人の話は、現在、博多に住んでいる娘さんのことに。「娘が幼いころはよく連れてきていたね。今でも帰省すると親子3人で来るんだよ」。錦江湾は夫婦語らいの場であり、家族団欒の場にもなる



邦雄さんが釣り上げたマダイ。55万人都市の市街地にある海づり公園でこんな大物も釣れる。この他、全長1メートル、体重10キロを超えるカンパチを釣り上げたことも



邦雄さんは寿司屋の店長。京子さんは漁師の娘。なんだか相性ピッタシな2人。この日の釣果は7~8センチの大アジが20尾。釣った魚は南蛮漬けに

**意外と簡単
アジのさばき方**

すし屋店長 左瀬さん直伝

① 胸ビレから包丁を入れ、頭を切り落とす
② 腹と背に切り込みを入れる
③ 皮を引きはがす
④ はらわたをとり、尾から包丁を入れて三枚におろす
⑤ 適当な厚さに切る
⑥ 腹の骨を切り離す

出来上がり!

与次郎二丁目の海づり公園で釣りを楽しんでいるのは広瀬邦雄さん、京子さん夫婦。天気さえよければ、邦雄さんの仕事が休みの水曜日はほぼ毎週通っている。
そんなわけで、ここの大連さんとは顔なじみ。顔を合わせるとあいさつ代わりに釣れ具合などの情報交換をする。最近の釣果をお二人に聞くと「あんまり釣れないねえ」と残念そう。でも「夜ごはんのおかず用だからね。こうしてのんびりと釣りをして、顔なじみの人たちと話をできるだけで気分がいいよ」と邦雄さん。

海づり公園は、水深が深く潮の流れが速いのでいろんな魚が釣れるそうだ。「ここはタイが釣れる日本でも有数の海づり公園。今の時季は豆アジやアラカブ、ミズイカも釣れるよ」と竿先を見つめながら京子さん。「今日は何時ぐらいまで?」と聞くと「あちらの気は分次第」と邦雄さんのほうを見て笑った。

市街地に
タイが釣れる
海づり公園あり



潮だまりは生きものの宝庫

かごしま水族館職員

大瀬智尋さん

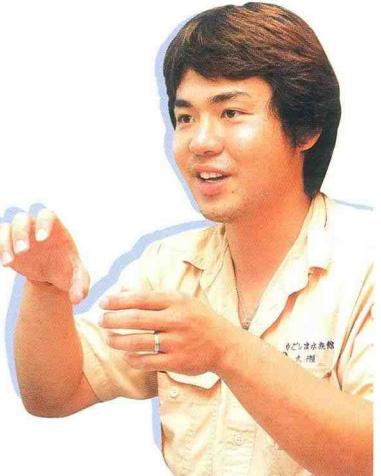
鹿児島の海は手軽に磯遊びができる
桜島フェリーの発着港がある袴腰
や磯海水浴場のちょうど市街地側の
岩場がお勧め。干潮になって潮だまり
ができると、海の生きものの観察プレー
ルになります。

釣り具屋さんで売っている網を2つ使
うと、小魚をとることができます。
コツは岩の隅に追い込んで左右から
すくい上げることですね。

足元の石をひっくり返すとカニや
ウニ、ナマコなど、生きものがたくさん。
ただし、岩場は滑りやすく、
夏は日差しも強いため紫外線対策などをお忘れなく。

ペットボトルを利用して簡単なわ
なもつくれます。潮だまりに2時間程
度沈めておくとけっこう魚が入つ
ていますよ。

足元の石をひっくり返すとカニや



一網打尽！ペットボトルでわなをつくるう

磯遊び歴20年 大瀬さん直伝

水中ではずれないようにホツチキスがガムテープで留める

ペットボトルの上部と底の部分をハサミで切り離す

ペットボトルに魚のエサ（ウイナーナーなど）と重しとなる小石を入れ、1で切り離した上部と底の部分をひっくり返してペットボトルにはめ込む



海の中をのぞいて見よう

錦江湾に潜ると別世界

かごしま水族館職員

山田守彦さん

鹿児島の海は亜熱帯と温帯が入り混じつて、海に潜るといろんな魚が見られますよ。

55万都市の海は汚れていると思われがちだけど、潜つて見ると案外きれい。水族館前のボードウォークの海にもいろんな生きものがいます。フラインディングモロおなじみのクマノミがイソギンチャクの中を出たり入ったりする姿も見ることができますよ。

沖縄や与論の海にも潜つたけど、鹿児島の海はそこに負けないくらいおもしろいですね。鹿児島のダイビングショップでは体験ダイビングなどができるので、潜つてみては。海中に広がる別世界に感動しますよ。



稲荷川河口の海中に潜ると、色鮮やかなムラサキハナギンチャクやガンガゼ（ウニの仲間）をはじめ、いろんな魚たちが生きていている

期待ふくらむ 海を生かしたまちづくり 市長に聞く

海で育った幼少時代

私が生まれ育った東市来の生家は庭を一步出るとすぐ海で、夏休みなどは日がな一日海で泳ぎまくっています。

また、運動会前には脚力をつけるために砂浜を走ったり、相撲をとったり、遊びはすべて海岸でしたね。私は「海に育てられた」と言つてもいいでしようね。

類ない錦江湾の魅力

私が育った東シナ海に比べると、錦

江湾は穏やか。しかも、その静かな海に雄大な桜島が浮かんでいる。日本でどこにもない素晴らしい景色ですね。

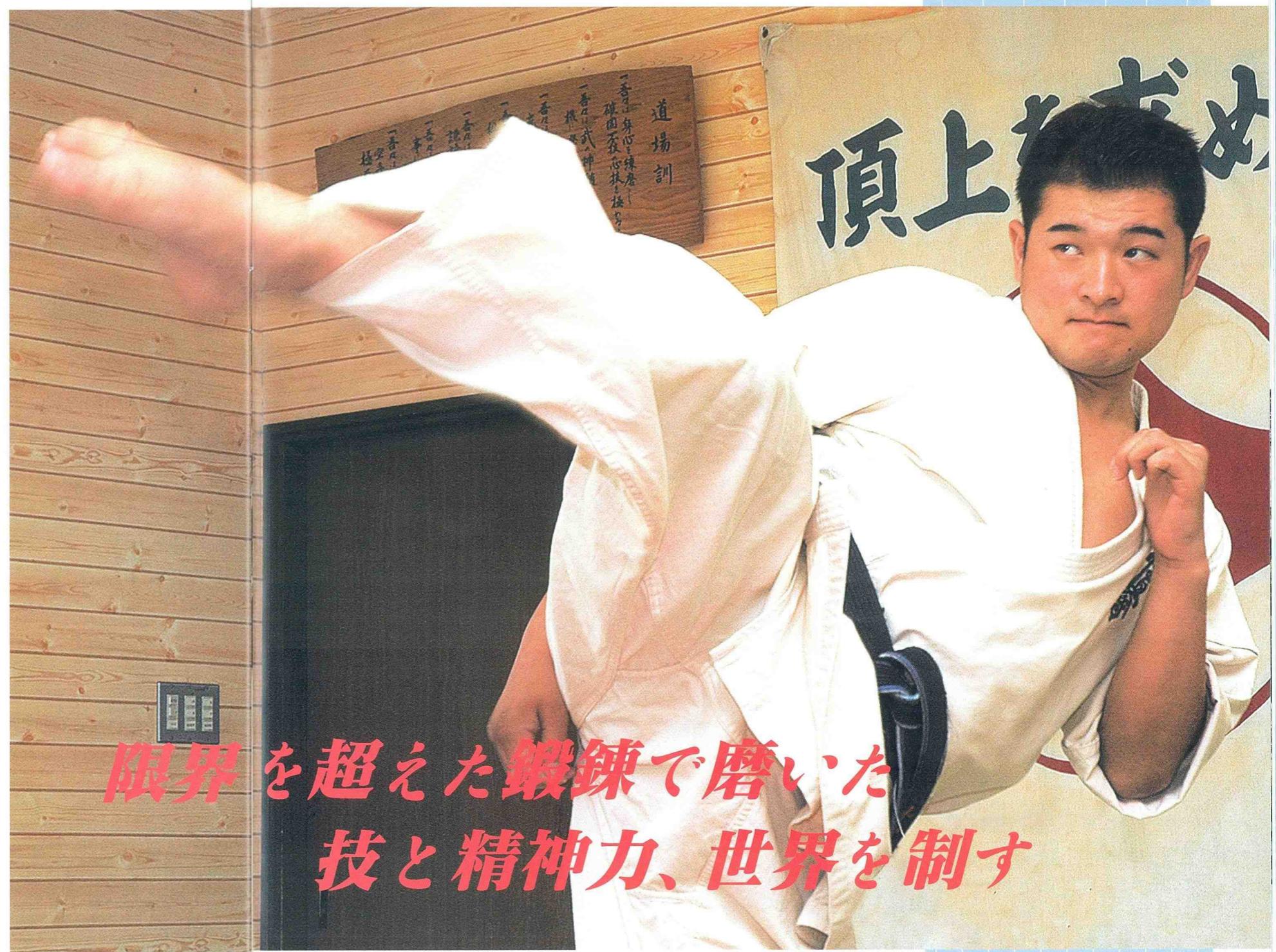
海の水も澄んでいて、海の中をのぞくと色鮮やかな熱帯魚やサンゴ礁を見ることができます。また、サツマハオリムシなど、錦江湾でしか見ることができない生きものもあります。

かごしま水族館では錦江湾を紹介するコーナーもあり、手軽に海を知るにはお勧めです。これも鹿児島ならではの海の楽しみ方ですね。

海を生かした新たなまちづくり

本市ではこれまで海を生かしたまちづくりを進めてきましたが、1市5町が合併すると、海を生かしたまちづくりをさらに展開することができます。南北46kmの海岸線は貴重な観光資源ですし、桜島フェリーのノウハウを生かして湾内クルージングもできないかと期待しています。

鹿児島の人とまちは「錦江湾と桜島に育てられている」と言えるのでは



昭和49年生まれ。
国際空手道連盟極真会館鹿児島支部所属。
平成12年、13年全日本空手道選手権大会優勝。
平成15年全世界空手道選手権大会優勝。
空手歴15年。

Close Up
クローズアップ

近づく。決勝では満身創痍。でも相手の拳の連打に真っ向から打ち合つた。判定勝ち。

「いつも限界を超えて体を追い込む練習をしてきた結果だと思います」。前回大会で初めてタイトルが海外に流れ、何が何でも奪還するという日本のエースとしての責任感が木山さんを支え続けたのだろう。恵まれているとはいえない176cmの体には並外れた精神力が宿っている。

「どんなことでもやるべきことをしつかりやれば結果はついてくるという証明になりました」。だれにでも通じる言葉だが、打ち込めるものを見つけ、続けた者のうち、目標を達成した者がけが口にできる言葉である。

「追い込まれて集中力が高まりました」という世界大会。試合が始まるとクリーニヒットをもらわない勘が戻っている。2回戦、足首で相手のひざを蹴り打撲。蹴り続けた足はボロボロになつていつたが、一戦一戦優勝へ

一絶望の淵から大会に臨む

世界大会1カ月前。肋軟骨損傷といふ骨折に近い状態のけがを負う。痛みが強く、大会3週間前でウォーキング2週間前になつてようやく追い込みをかけた。しかし、けがをかばつたせいか腰を痛めた。にぶつた動きのままでは体がそれに慣れてしまう。調整に入るしかなかつた。

「過去最低の仕上がり。終わつたと思いました。でも、応援に応えたかたし、今まで積み上げてきたものを無駄にしたくなかったんです」。4年に一度のオープントーナメントに世界67カ国240人が参加した。3

日間の長丁場、1回でもまともに拳や

蹴りをもらえば肋骨が肺に刺さる危険もあつた。胸をテープで押さえ運を天に任せた。

打ち込むものを見つけた

小学生のとき、転校していじめられたこともある。堂々と物を言えない性格だった。本人いわく「球技が苦手で足も遅く、どちらかというと運動が苦手」。何か自信をつけたかった。

「高校入学後、体を強くしたいと思い、柔道やラグビーを考えましたが空手部に入りました。みんなゼロからのスタートだつたんで、練習しただけ差が出るので、すぐにのめり込みました」。

「15年すべてを出す

「追い込まれて集中力が出るので、すぐにのめり込みました」。

より実戦でやりたいと1年生の夏に空手道場へ。防具なしで拳と蹴りを体に打ち込むこの空手は、破壊力、テクニック、スタミナが必要。毎日学校から道場へ直行し、練習、筋力トレーニング、走り込みなどで帰宅は10時ごろ



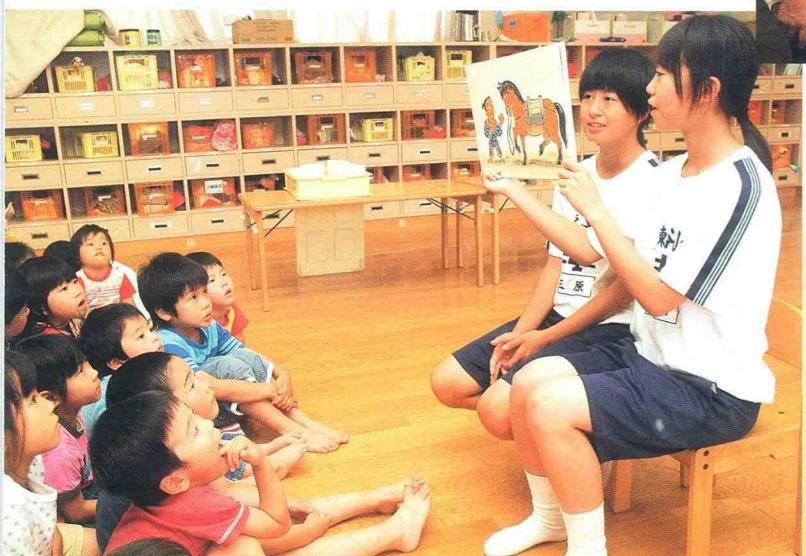
全世界空手道選手権大会。10cmも身長の高い相手にカカト落としで攻撃
(提供:びいぶる社)



東谷山中学校



3年生 職場体験学習



保育園では子どもたちの真剣な瞳にドキドキ

市街地もかすんで見える長い坂道「桜坂」。上って上って学校へ



5月25日
かごしま水族館入館者500万人達成
開館7年を目前に入館者500万人を達成しました。



5月26日 市政モニター懇談会
観光をテーマに市政モニターが市長らと意見交換をしました。



アジサイ(平川動物公園)



5月23日～6月13日
花しょうぶまつり
平川動物公園では、約80品種15,000本の花しょうぶが咲き誇りました。



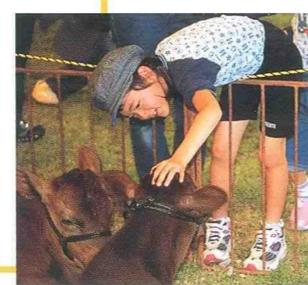
4月24日～6月27日
鉄道風景 いま・むかし展
-発掘から見る古代そして現代へ-
ふるさと考古歴史館では鹿児島中央駅周辺の古代からの移り変わりを紹介する企画展を開催しました。



5月10日 防災点検
梅雨の時季を前に、桜島と市街地で防災点検を行いました。



5月15日・16日
第7回渋谷・鹿児島おはら祭
パレードが行われた道玄坂と文化村通りの沿道は多くの見物客でにぎわいました。



5月23日
畜産フェスタ
都市農業センターでは家畜の品評会や農畜産物の試食、抽選会などが行われました。



4月8日 合併申請書を提出
1市5町の合併申請書を県知事に提出しました。



4月20日
長沙市旅游考察友好交流団の
市長表敬
長沙市の旅游考察友好交流団が来鹿し、観光説明会を開催しました。



4月24日～5月5日
平川動物公園こどもまつり
新幹線開業効果もあり、ゴールデンウィークは各施設とも市民や観光客でにぎわいました。



4月1日
宇宿中間福祉館開館
市内で40番目の地域福祉館がオープンしました。



ルーピン(慈眼寺公園)



4月3日 千本桜祭り
甲突川河畔で在鹿外国人と市民が花見をしながら交流を深めました。



買い物はいつもふたりで

日本は遠い国

ユフェミアさんは、留学中の夫、ジョセフ・オルクマ・チェイキュラさんと暮らすため、昨年9月、ナイジェリアから鹿児島に来た。

ユフェミアさんは、来ることが決まったとき、うれしさとともに不安もあつたようだ。「日本は遠く、文化や食べ物が違います。友達もいなくて、日本に来るのは恐かった」。

砂漠、サバンナ、森、海
ナイジェリアの人口はアフリカで一番多く、広さは日本の約2.5倍。

沙漠、サバンナ、森、海

ユフェミアさんは、来ることが決まったとき、うれしさとともに不安もあつたようだ。「日本は遠く、文化や食べ物が違います。友達もいなくて、日本に来るのは恐かった」。

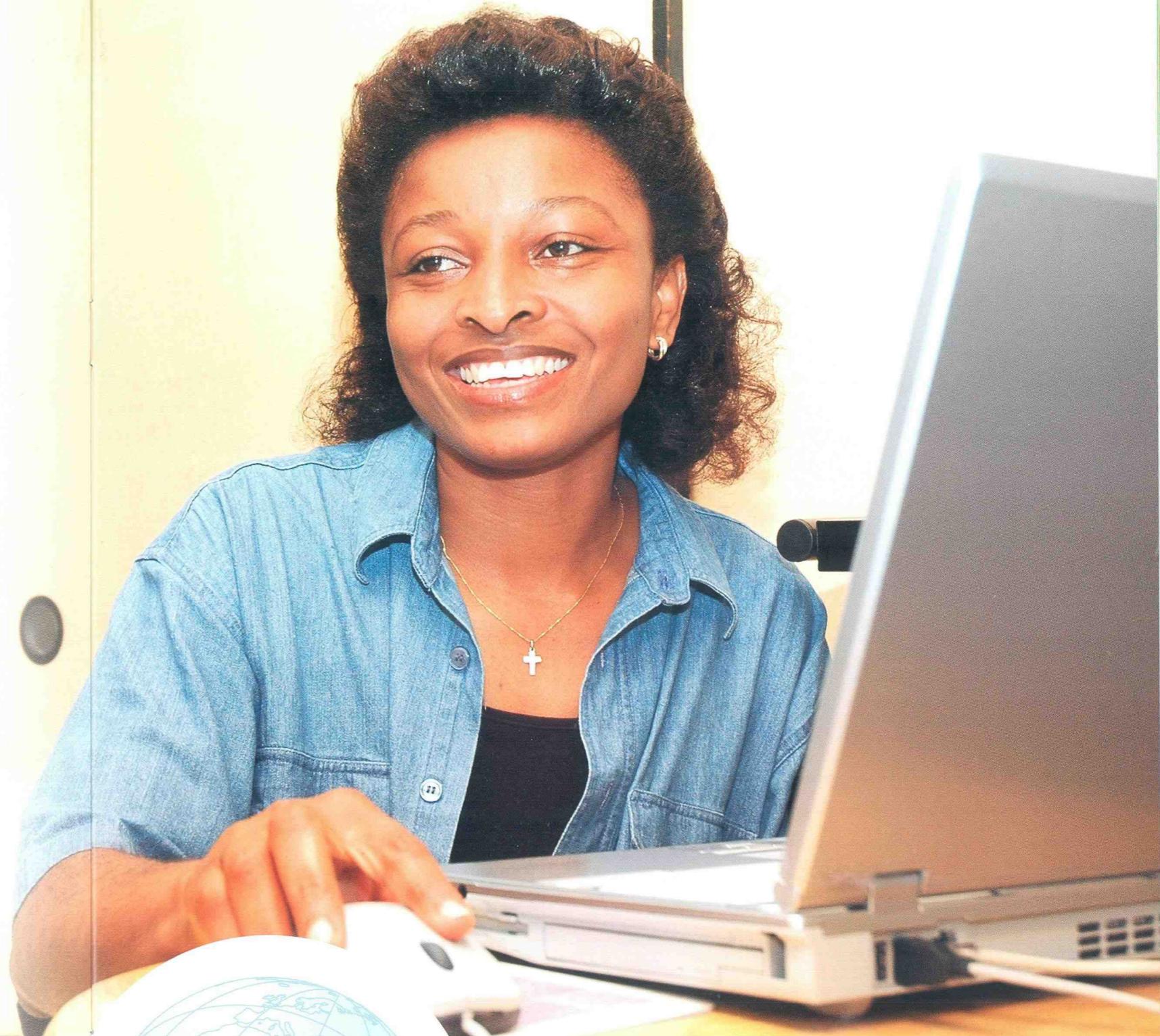
料理に砂糖を使わない

鹿児島の食べ物や料理は甘いといふ。ナイジェリアは、料理に砂糖を使わない。塩といろんな種類のスパイスをたくさん使って味付けする。「主食はヤムという長さ60センチくらいのイモ。ヤムを煮て、餅つきのようにして碎いてつぶし、パウンデッドヤムと呼ばれるものになります。出来上がりも餅みたいですね」。甘い味がして、おかずの魚や野菜のスープを食べるときには欠かせないものだそう。鹿児島での食卓はパウンデッドヤムのかわりにごはん、おかずはやはりスープ仕立てにすることが多い。

日本のNGOと共に活動したい

ナイジェリアをはじめ、アフリカの人々踊るのが大好き。昨年は、アフリカからの留学生と日本人の学生が200人ほど集まって、ダンスパーティーを開き、ユフェミア

来てみると、日本は平和で、人はやさしく親切だった。

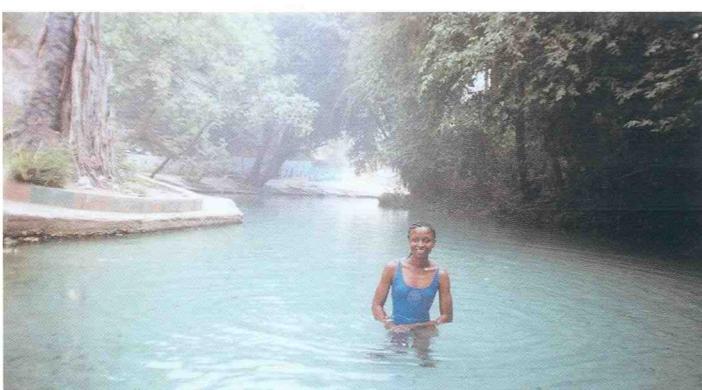


ナイジェリアの友人や家族とはメールで連絡。会いたくなるそうだ

【ナイジェリア出身】

ユフェミア・チェイキュラさん

Hello
KAGOSHIMA



ナイジェリアの温泉。屋外にあって、日本の温泉よりぬるい

さんも楽しんだ。「日本人は恥ずかしがりやだけど、ほんとうは踊ることが好きなんだね」というジョセフさんの言葉にうなづくユフェミアさん。

ナイジェリアに帰ったら、NGOを立ち上げ、日本のNGOと共に活動するのが夢だ。

ほっとしたいときに行く—— そこは自分の人生を一望できる場所

昭和49年、鹿児島大学赴任のため、車で国道10号を市内に向かって走っていました。ぱあっと錦江湾が開けてきました。当時は、よく爆発していたので、なにかギラギラするものを感じました。妻と子は、初めて見る桜島に強烈な印象を受けていたようですね。

その桜島と錦江湾を中心に谷山方面以外の鹿児島市を見る事のできるこの場所によく足を運び、思いをはせます。この景色に、自分の青年時代から現在までを見ることができるもので、見える景色は、時間や天気によっても違ってきます。思い出すこともその時の状況で変わってくるんですよ。雨が降る日は、ちょっと切ないことを思い出したり…気を晴らすために出てきてるのに、おかしいですね。

ここから、鹿児島大学も見ることができます。大学にいたころは、鹿児島純心



鹿児島大学の名誉教授でもある久留先生。
なつかしい学生たちと、会話をはずむ。

【取材メモ】

お会いするまで、大学教授ということですごく緊張していましたが、先生のやさしい話し方と笑顔、そして冗談まじりのお話を聞くうちに、取材がとても楽しいものとなりました。

「昨日は、赤ワインを飲みました」と言つて、少し血色のいい顔をさすつていた時の顔が、とても印象的でした。

唐湊の高台から見る 市街地



女子学園をいつも見上げていましたが、今は、ほっとしたい時に下を見ると少し前まで過ごしていた場所が見える：なつかしいですね。マンションなどが多くなり、見えにくくなりましたが、日照権はあっても、景色権というのはないですかね。

鹿児島大学は、30年間職業人として自分の力で立っていた場所なので、生きていった証であり、心のふるさとでもあります。そこでは、学生や研究に対する思いもありますが、たくさんの患者さんと接してきた思い出もよみがえります。登校拒否や家庭内暴力で悩む少年を2年かけてカウンセリングがあります。少年

は小児科の医師になったのですが、その理由を、「自分が立ち直って、小児科の医者になったのは、先生と出会ったからです」と言つてくれたんです。感激しました。彼は、自分の経験を生かしてすばらしい小児科の医師になります。自分のいた研究室を見るとその時のうれしさがよみがえります。

このすばらしい景色を見て、たくさんの思い出を振り返りながら、今の学生たちのことも考えます。臨床心理士として活躍できるように、サポートすることが私の務めです。知識はあるのですが、やはりどころない状態で社会に送り出される彼らのために、卒後研修などを充実させていきたいですね。

鹿児島純心女子大学大学院 教授
久留 一郎さん

1939年鹿児島市生まれ。
1974年～2004年鹿児島大学教育学部に勤務。
臨床心理学、障害児・者心理学を専門に、PTSD(外傷後ストレス障害)の臨床的研究などに強い関心を持つ。
最近は、日本臨床心理士会被害者支援研修会講師を依頼され、被害者支援のための心の専門家養成を担当している。



和の好きな場所
My favorite Place



大久保屋敷跡碑文

大久保君以天保元年庚寅八月十日生於鹿児島城下下加治屋町此處即君之宅址也。故輩與君同鄉里得其風采得音於見聞之際景仰欽慕不能自止恐歲月已久遺蹟或歸湮滅於是相謀建一碑以傳承遠庶幾後之生長此鄉者有所感發興起焉。

明治三十二年三月二十日建



大久保屋敷跡碑文



西郷隆盛・大久保利通誕生地碑・共建碑

文 維新ふるさと館 福田 賢治

加治屋町にある西郷、大久保の居宅址には、それぞれ全く同型、同大の「西郷隆盛君誕生之地」「大久保利通君誕生之地」碑が建てられている。また、その脇に建てられている「共建碑」の碑文は、西郷の朋友で日本近代史学の基礎を築き史学会長となつた重野安繹（坂元の出身）の作である。その碑文を見ると、一行目に「西郷」の姓の字数と両者の生年月日との字数の違いをうまく組み合わせ、両者とも全く同文で、きれいで九十九文字にまとめられていて興味深い。

これは、西南戦争で賊名をあびた

學舎記によると、建立の計画発案者は大山巖で、同郷の東郷平八郎や黒木為楨らに相談した後、明治二十二年一月三十日の郷中例会で話し合われ、当時品川の別邸にいた西郷従道に話して建立が具体化したという。

この碑を建立する当時は、まだ南戦争の感情のしこりが色濃く残つており、勝ち組と言われた政府軍ではあつたが、鹿児島は西郷一色の感が抜けず、勝ち組の鹿児島出身者に対する憎悪は計り知れないものがあり、その家族なども鹿児島に留まれない状況であった。西郷従道ですら、兄

西郷が、明治二十二年大日本帝国憲法発布に伴う大赦によってその賊名が除かれ、正三位が追贈されたのを機に、両翁の偉業・遺徳をしのんでその隠滅を防ぐとともに、「願わくば後のこの郷に成長する者が感發興起する」ことを期待して建てられたものである。しかし、当時の関係者の間では、西南戦争で敵対関係となつた両翁のわだかまりを少しでも和らげようとの意図が強くあつたようで、建立の際の条件として、両居宅址を永久保存とすること、及び、両地に全く同一の碑を建て以後も変えないということの二つの条件を特別に附して鹿児島市に寄贈している。

碑文には、明治二十二年三月二十日と記されているが、完成は翌年の十二月で、建設の記念式典は明けて明治二十四年一月三十日、東京と鹿児島で盛大に挙行されたという。「二松

両翁のわだかまりを解く誕生地碑

隆盛の十三回忌のときはじめて鹿児島への墓参がかなつたという。

「共建碑」の裏側には、碑建立に尽力した大山巖、黒木為楨、東郷平八郎など同郷の友人をはじめ、西郷従道、隆盛の息子寅太郎や午次郎、利通の息子の利和や牧野伸顕など西郷家・大久保家の人々八十五人の氏名が刻まれている。

大久保利通の誕生地は、実際には高麗町で、そこにも現在小さな誕生地碑が建てられているが、大久保家は利通が幼いとき加治屋町へ移つてきただので、「維新ふるさと館」隣の大久保邸址は、正確には「生い立ちの地」である。また、西郷家は安政二年（一八五五年）に土地・家屋を売り払い上の園町へ移転して借家住まいとなり、明治二年に武に屋敷を求めて移転している。



西郷誕生地碑文

西郷誕生地碑文

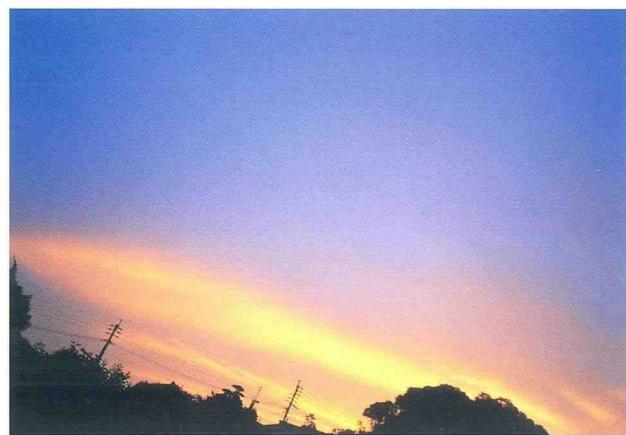


「記憶～瞳の先に～」

鹿児島東高等学校写真部



「太陽にちょっと近づいた」 神村 紫



「暁」 稲留 真里



「あの日見た空は」 古瀬 百合



「海の中」 大園 麻扇



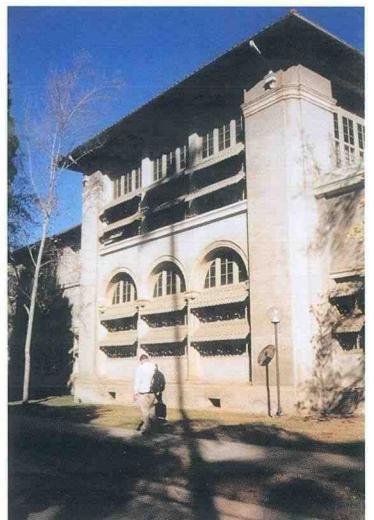
「涼夏」 永田 麻衣



「あなたを想う」 永井 あやな



「三四郎」 鶴來 舞



「動かない時の流れ」 田中 春香

ビーズアクセサリー作り

川口 麻依子さん



ビーズとひとことで言っても色、形、素材はさまざま。細いテグスやワイヤーに通して加工する地道な作業を積み重ねて、キラキラ輝く宝物ができていきます。

よかTIME
YOKAタイム

始めたきっかけは

学生のころ通っていたビーズアクセサリーのお店に久しぶりに行つて、講座があると知ったのがきっかけです。

細かい作業ですね

実はこういう作業はどちらかというと苦手なんですが、小さなビーズを一つ一つつなげていくうちに熱中して、あつという間に時間が過ぎてしまうんです。

ビーズアクセサリーの一番の魅力は

色が豊富であることですね。わたしは紫やピンクが好きですが、ほかの色に冒険してみるのもまた楽しいんです。

これから夢は

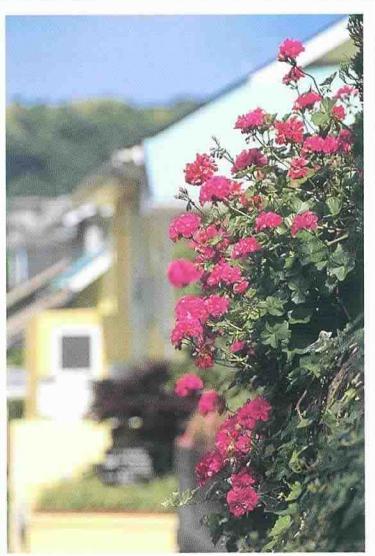
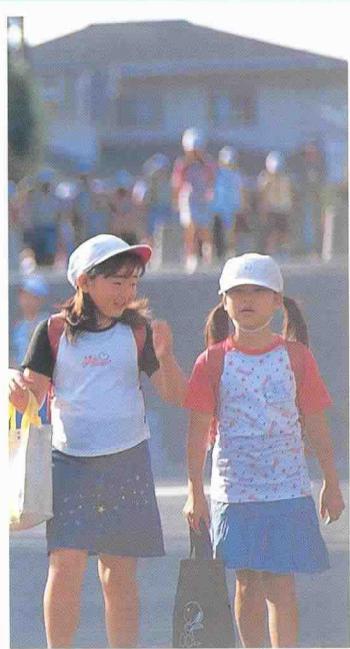
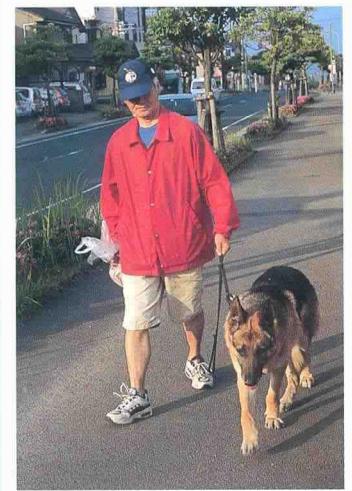
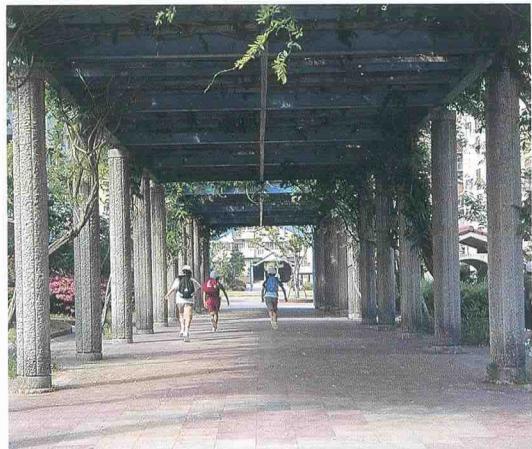
もうすぐ出産の予定です。結婚して仕事を辞め、出産までの今時間が、ようやく持てた自分の時間という気がします。

子どもが生まれ、一段落したらまた始めたいですね。女の子だったら一緒にできたらいいなと思っています。



街角ウォッチング

～伊敷ニュータウン～



味じまん

「チンゲンサイとベーコンのスープ」
「ミズナの海鮮サラダ」

仮屋さんファミリー

[吉野町]



「お待たせ、夕ご飯よ」。この地で代々農業を営む仮屋敬藏さん夫妻、息子の政勝さん夫婦、中3の佳奈江さんと小6の龍矢君の三世代ファミリーの登場だ。

政勝さん夫妻は軟弱野菜のハウス栽培のために、アグリタウン小山田に出勤する毎日。市場出荷の日は朝5時に家を出る。

ご自慢の畑で採れたフレッシュ野菜の料理を囲んで、今夜もにぎやかな食事がスタート。チングエンサイの香りが湯気とともに鼻孔に入ってきた。旬の野菜とベーコンの旨味が絶妙なハーモニーを奏で、卵がおいしさを包み込んでのどを通っていく。シャキシャキとしたミズナが刺身とうまくマッチし、鮮度が最良の調味料だと実感。カリカリつといたクルトンがおいしさの脇を固め、イクラがはじけて中

今回のレシピ



1. 材料(4人分)

チングエンサイ1束、ベーコン100g、にんにく1かけ、スープ[水4カップ、固体スープの素2個]、卵1個、油適量

2. 調理手順

- ①チングエンサイ、ベーコンを1.5センチに切る。
- ②にんにく1かけをすりおろす。
- ③中華鍋に油をうすく引き、にんにく、チングエンサイの茎、ベーコン、チングエンサイの葉の順番で炒める。
- ④鍋に、水4カップを入れて沸騰したら、固体スープの素を入れる。
- ⑤④に、③の具材を入れて、沸騰したら卵をといて流し込んで、できあがり。

「ミズナの海鮮サラダ」

1. 材料(4人分)

ミズナ1束、レタス1/2玉、刺身(マグロ、タイ、イカ、サーモン、イクラなど)好みで適量、ドレッシング(市販の物)、食パン2枚、油適量

2. 調理手順

- ①ミズナ、レタスを水洗いして、水けを切る。
- ②ミズナは3センチに切り、レタスは食べやすい大きさにちぎる。
- ③食パンは5ミリ角に切って、油でカリカリになるように揚げる。
- ④②と刺身と③を合わせて、ドレッシングで味を整える。
- ⑤イクラは、彩りをよくするため、最後にちらしてできあがり。



身があふれ出た時、おいしさは頂点に。食べ盛りの子どもたちに野菜を食べてもらうための定代さんのアイデア料理は評判も上々だ。

「お代わり!」。龍矢君の茶わんに視線が集中。祖母ナミ子さんの微笑、「まだ食べるの」と姉佳奈江さん、いかにもうれしげな母定代さん。龍矢君の「お父さんの後継ぎになる」という言葉に、敬藏さん、政勝さんの晩酌のピッチも上がっていくが、「それならもっと野菜を食べなさい」と注文も忘れていない。代々続く農家のだんらんの食卓に、笑顔と語らいは尽きることがない。

鹿児島市交通局

「警鈴」



市電が走り出した昭和3年からおよそ30年使われた。この警鈴は交通局に唯一現存するもの。

「チンチン」という響き…。実は路面電車が別名チンチン電車と呼ばれるようになったのは、この警鈴に由来するともいわれています。

昭和30年代以前、路面電車は手ブレーキの時代。今のような圧縮空気を利用したブレーキではなかったので、圧縮空気で大きく鳴らす仕組みの「警笛」はまだ使われていません。

当時、警笛の役割を果たしていたのが「警鈴」。足踏み式のベルで運転台の下に取り付けられていました。まだ下駄を履いていた運転手。小さく突き出たペダル(上の写真的板上部に突き出た部分)は、上手に強く踏まないと響き渡る音が出せませんでした。

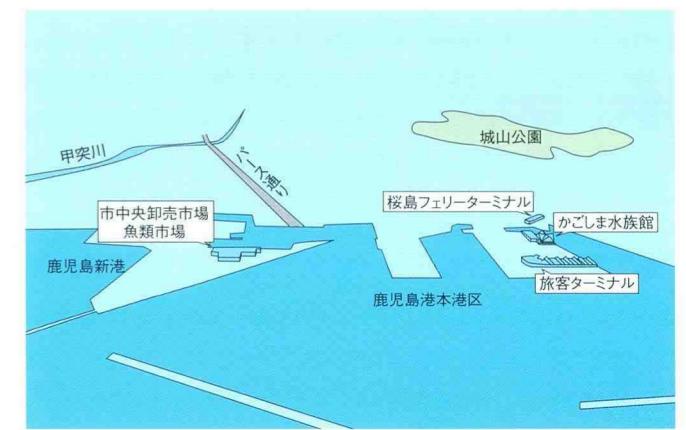
当時の運転台には乗客との仕切りがあります。通勤・通学の混雑時には、進行方向と逆の運転台の上にも乗客が押し合いへし合いして立ちました。いたずら好きな学生はわざと警鈴のペダルを踏んだりしたものでした。

(元市電運転手 森園睦夫氏)



403号にもついていた警鈴(昭和25年7月天文館停留場付近)

わが町上空



「鹿児島港本港区周辺」

650年の歴史を有する鹿児島港は、南北約20キロメートルにわたり、7つの港区から成り立っています。

そのうちの1つである本港区は、鹿児島港の発祥の地です。鹿児島市の中心街に近く、桜島フェリー、種子・屋久航路、奄美・喜界航路などの発着場となっています。観光客船も昨年度は谷山港と合わせ32隻寄港し、多くの観光客を迎える入れました。

写真右手前に見えるかごしま水族館は、市民をはじめ多くの人に親しまれ、今年5月に入館者500万人を達成しました。写真左手前には魚類市場が見えます。

本港区は、夏の大きなイベント、「かごしまウォーターフロントフェスティバル」や「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」の舞台にもなります。



編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号

電話 216-1133

印刷・レイアウト／渕上印刷株式会社

